

カンヌ映画通り (1981)

NOTRE DAME DE LA CROISSETTE

メディア 映画
ジャンル ドラマ
製作国 スイス
色彩 Color
時間 54分
初公開日 1988/05/06
公開情報 P T Y X

【解説】

異能の人シュミットが、81年5月のカンヌを実際にレポートしながら作り上げた不思議に面白いセミ・ドラマで、「人生の幻影」「トスカの接吻」のドキュメンタリー的風合いと、近作「季節のはざま」の軽やかな詩的創作のちょうど中間に当たるような小品。映画祭でにぎわうカンヌを訪れたベティ（亡きパスカル・オジェの母で仏の中堅女優ビュル・オジェ）はなんとか上映会場に潜りこもうとするが、まるで部外者なのでほとんど門前払いを喰う。時折、落ち目のスターの会見などに顔を出さず程度で、結局は部屋に閉じこもるばかり。退屈紛れにベッドの上で覗くオペラグラスからは50年代の綺羅星の様なスターの姿が（過去の映画祭の記録フィルムなどで）溢れ出るというのに……。事務局に電話を掛け捲るオジェの姿が滑稽だが、映画ファンとして身につまされる。

【クレジット】

監督	ダニエル・シュミット	Daniel Schmid
製作	オーギュスタ・リヴァ	Augusta Riva
撮影	レナート・ベルタ	Renato Berta
出演	ビュル・オジェ	Bulle Ogier
	キラ・ニジンスキー	Kyra Nijinsky
	ボブ・ラフェルソン	Bob Rafelson
	ジャン＝クロード・ブリアリ	Jean-Claude Brialy
	ジャック・ニコルソン	Jack Nicholson